

福井大学学術協定校への派遣留学(交換留学)月例報告書(7月分)

留学先大学:ナポリ東洋大学

氏名:勝山東慈

Buongiorno a tutti. Sono Toji. Finalmente sto scrivendo l'ultimo rapporto mensile. Il tempo vola veramente! Per questi cinque mesi ho fatto tanta l'esperienza qui. Mi sembra che un po' peccato che questa è l'ultima volta che ci vediamo qua. Spero che vi divertite il mio ultimo rapporto. Allora, cominciamo!

こんにちは、ナポリ東洋大学に留学している勝山です。今回で僕が報告書を皆さんに向けて書くのは最後になってしまいました。最後だからと、手は抜きませんよ！皆さんに有益な情報を発信出来たらと思います。

それでは、今月もよろしくお願ひします！

【プチ旅行で貴重な体験！？】

7月になるまで、(冗談抜きで)ナポリを一步も出なかったのですが、日本人の友達が日本からわざわざナポリに会いに来てくれる機会がありましたので、友人とローマへ行ってみました。

なるほど、ナポリとはまた違った町の装い、(イタリア語好きからすると)ナポリ弁とは違う現地の人々のイタリア語、様々、知見を広げることができました。

しかし、僕にとっての本当に貴重な体験は、旅の帰り際におきました。

なんと、人生で初めて(何回も遭いたくないですが)「ジプシー」に遭遇することができたのです。



「ジプシー」ってなんだ？という人のために少し。

「ジプシー」という言葉ですが、日本では放送禁止用語ですのであまり大きな声では言わな

いようにしてください。差別表現ですので。

イタリア語では「Zingaro(複数形で Zingari)ジンガロ」と呼ばれている人たちです。

簡単に言えば、スリや詐欺を町中ではたらく人たちのことです。僕が今回遭遇したのは詐欺をする人の方でした。

僕の体験した手口はこうです。

- ・僕がローマテルミニ駅で路線を探している
- ・知らない私服女性が寄ってくる
- ・「路線まで案内するよ」といわれる
- ・路線についたところで、「教えてあげたからお金をくれ」の一点張り

実は、イタリアに来る前からジプシーの存在は知っていたので、その女性が寄ってきて案内するといわれた時点で、服装と不必要なサービスから、「あ、これジプシーだ」とわかっていました。チームで行動してスリに発展させるパターンもあるので、最大限警戒しつつ路線まで行き、金銭を要求してきたところで、「現金はない、そこの警察署に行くか？」といってお別れしました。



日本人はあまりこの手口になれていないのでよく払ってしましますが、駅員以外からのサービスは普通ありませんので、「No grazie. Se ne va」(結構です、あっちに行ってください)と(怪しく感じたら)即座に言いましょう。

(くれぐれも僕の真似はしないでおきましょう)

【今月の使えるイタリア語～L'italiano di questo mese!～】

このコーナーでは名前の通り、毎月生活でよく耳にする、よく使う、覚えたその日から使えるイタリア語を紹介していきます。イタリア人の皆さんはイタリア語で頑張ってる話すと、ニコニコしながらお話ししてくださいますので、イタリアに留学される方はぜひ覚えてつかってみてくださいね! (^_^)

Allora, cominciamo!! (では、始めていきましょう!)

今月のテーマ：いろいろなイタリア語

生活に必要なイタリア語は、6月までに紹介しましたので、今回は皆さんに「イタリア語っていいね!」と思っていただけそうな表現を集めました。

気に入っていただけると幸いです。

• Tra il dire e il fare, c'è di mezzo il mare. 言うは易く行うは難し。

僕が一番好きな表現であり、座右の銘でもあります。直訳は、「言うこととすることの間には大海がある」です。皆さんも何かを成し遂げたいなら、行動あるのみです!

ということで今月はここ、、、ってもう終わりか!

はい、ぼくのとりわけ好きな表現って実はこれだけなんです(笑)でもこの言葉が僕の人生をいい方向に向けていってくれています。ですのでこれだけでも皆さんにご紹介できうれしいです!!

さて、今月はここまでです(笑)

皆さん、今まで僕の報告書にお付き合いいただきありがとうございました。

「ググっても出てこない」情報を入れられたらと思いながら執筆していましたが、いかがだったでしょうか?

もしかすると出てくる情報もあったかもしれませんが、なるべく僕が経験したことをお話ししたので、「僕だけのストーリー」になっているはずです。皆さんがこれを読んで、「イタリア面白そうじゃん!」と持っていただけると幸いです。

それでは皆さん、

Alla prossima! Ci vediamo presto! Un abbraccio.